



七月四日(金)、糸満市青少年の家の家で、学年別に分かれて、調理実習を行いました。各学年、男女混合で、学年別のメニューを、先生の手伝いのもと、調理しました。調理した後は、各自で盛り付け、美味しくいただきました。学年別に分かれて、調理実習を行いました。各学年、男女混合で、学年別のメニューを、先生の手伝いのもと、調理しました。調理した後は、各自で盛り付け、美味しくいただきました。

仲間と調理したカレー最高！ ～一学年野外炊飯～



西崎中学校
校長 宮城 義隆

校長の独り言⑮

「ビリギャル」からの学び

皆さんは「ビリギャル」をご存じだろうか？「ビリギャル」とは坪田信貴著の書籍「学年ビリのギャルが1年で偏差値40上げて慶應大学に現役合格した話」の主人公である小林さやかさんの愛称である。この書籍は2015年に有村架純さん主演で映画化され大ヒットしたのでご存じの方も多だろう。その当時、私もその書籍を読み、映画も観たのでとても印象に残っている。そのさやかさん本人が2024年に書籍「私はこうして勉強にハマった」を出版したので、興味を持って読んでみた。するとこれがまた素晴らしい本だった。この本では、さやかさん自身がその後進学したコロンビア大学教育大学院で研究した認知科学の視点から「なぜビリギャルはあんなに頑張れたのか？」「どうしたら再現できるのか？」の問いに迫っているのだ。そのポイントを①モチベーション、②戦略と計画、③環境の3つにまとめている。ここではその詳細の説明は避けるがPROROGUEの言葉を一部紹介したい。「勉強ってしんどい。『どんなに頑張ってもどうせ無駄』…勉強ってただの『苦痛な時間』だよ…私はまったく勉強ができなかったし、できるようになりたいとも思ってなかった……勉強できる人はなにも特別な人じゃない…『正しい努力の仕方』と『努力する楽しさ』を知っているだけ…それをあなたに伝えるために、この本を書きました」この本は学級図書の一冊として、各学級に置く予定である。生徒諸君よ！本校にギャルは一人もいないとは思いますが、この本を読んで、学習に対する「モチベーション」を上げ、学習の「戦略と計画」を立て、成績を爆上げさせようではないか!!

「他人に愛される三つの方法」
～市ジョシ万次郎英語弁論大会～
七月八日(火)、市役所会議室においてジョシ万次郎英語弁論大会が開催され本校から毛利怜さんが出場しました。演題は「他人に愛される三つの方法」でジョシ万次郎の生き方から得た愛され方を参考にした。考えを堂々と述べました。惜しくも優秀賞は逃しました。見事優良賞を受賞しました。



快挙！最優秀賞・優秀賞W受賞！
～糸満市少年の主張大会～
七月十日(木)、農村改善センターで開催された糸満市少年の主張大会に成田桜さんと玉城トリニティモニークさんが出場し、見事桜さんが最優秀賞、モニークさんが優秀賞を受賞し、島尻地区大会出場の推薦を得ました。二人とも自分の心の中の葛藤を自分の言葉で素直に表現し、そこから前向きに捉え、変化していく様子を堂々と語っていました。桜さん、モニークさん、おめでとうございます。



すべての生徒・職員が安心・充実・挑戦している学校をめざして